

## 地理 B

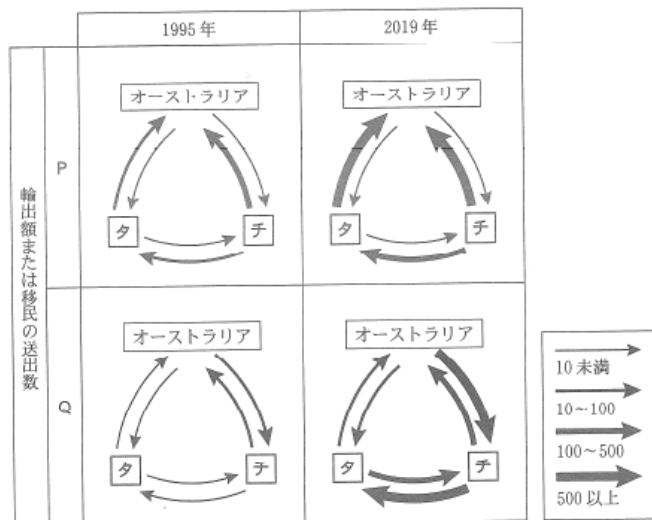
## 第4問 問5

## 統計にあらわれた特徴の背景を考察して判断する問題

問5 次の図6は、インド、中国<sup>\*</sup>、オーストラリアについて、1995年と2019年における3か国間の輸出額と移民の送出数を示したものである。図6中のタとチはインドと中国のいずれか、PとQは輸出額と移民の送出数のいずれかである。中国と輸出額との正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

24

<sup>\*</sup>台湾、ホンコン、マカオを含まない。



単位は輸出額が億ドル、移民の送出数が千人。UN Comtrade などにより作成。

図 6

	①	②	③	④
中国	タ	タ	チ	チ
輸出額	P	Q	P	Q

## 出題の特徴

3か国の1995年と2019年の輸出額または移民の送出数の関係を示した図から、国名と輸出額の図を選ぶ出題でした。変化の顕著な2019年のオーストラリアの矢印の太さ・向きに着目して、オーストラリアとインド・中国との関係を考えることができたかが、正解を導くカギとなりました。

## 指導のご提案

共通テストで定番となったこの形式の出題は、今後も出されると考えられます。このような問題に対応するためには、まず示されている国と凡例に着目して、図の特徴(数字の大きい・小さい、その変化の時期など)を読み取る必要があります。「資料の着眼点」と「正確な知識」をもとに考察する判断力が求められています。授業の中で、教科書・資料集に掲載されている資料をもとに、本文のどこが資料に示されているかを考える学習を進めることで、資料読解の技能と考察力が身についていきます。

## 2023年度大学入学共通テスト

## 「地理B」

受験者数: 138,972人  
平均点: 60.46点  
標準偏差: 14.32

## 教材のご紹介…「進研WINSTEP 地理B [三訂版]」

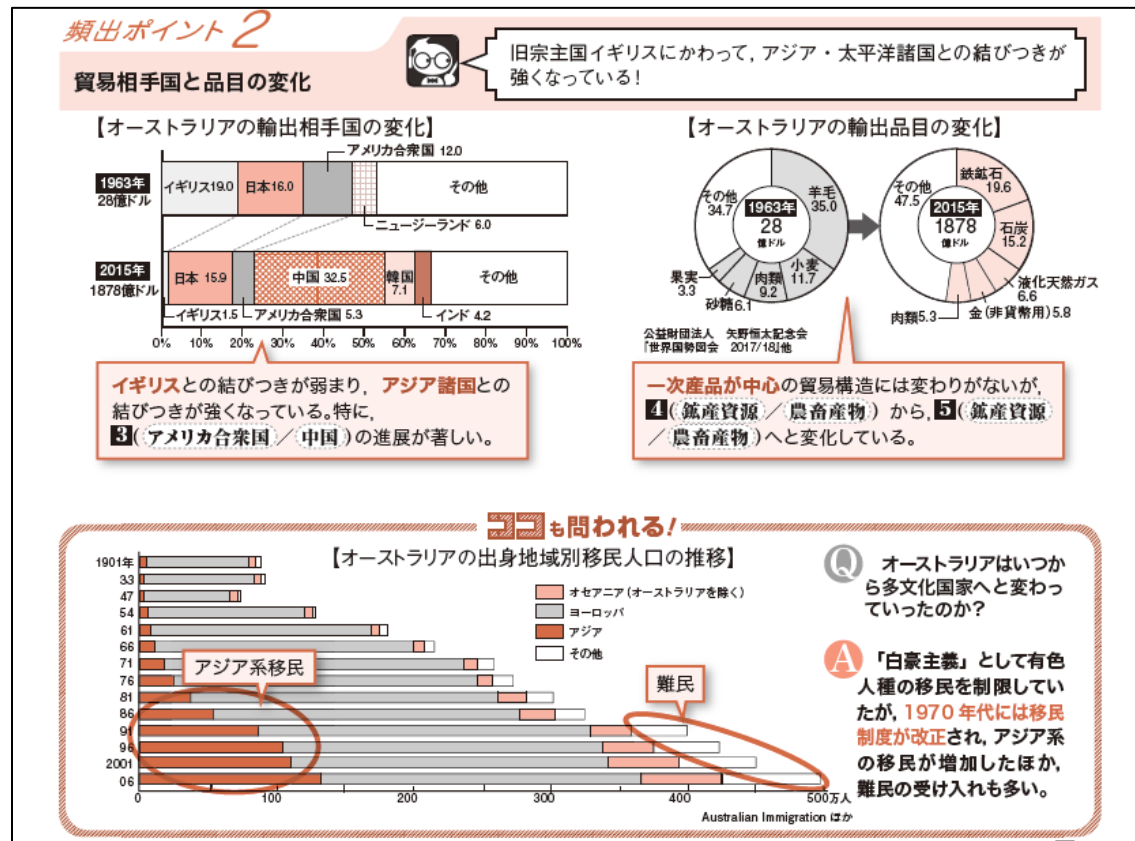


定価 **930円**(税込み)

活用できる知識を習得し、解答する力を身につける

右の2種類のグラフから、オーストラリアは、アジア系(中国・インド)の移民が増加していることと、輸出相手国では中国の増加が著しいことを理解していれば、問5でオーストラリアに2か国から矢印が向かうPは移民、オーストラリアから輸出額の矢印が向かう「チ」は中国と判断できます。

## 統計にあらわれた特徴の背景を考察して判断する問題



入試頻出の知識を「使える状態」に整理し、3年生2学期からの本格的な実戦演習へ

「2024共通テスト対策【実力完成】直前演習 地理B」(2023年6月発刊)